



平成31年・令和元年度
丹波篠山市立城南小学校

学校通信

5月号

くすの木

2019年 発行日 5月20日

大型連休が終わり、子どもたちも普段の生活のリズムを取り戻してまいりました。お忙しいなか、家庭訪問にご理解、ご協力いただきまして本当にありがとうございました。時間も限られていて、なかなか十分な話し合いはむずかしかったかと思いますがこれを機会に担任とよりよい関係をつくっていただければと考えています。何か心配事がありましたら、どうぞ担任または学校にご連絡ください。一緒に考えながら、よりよい解決に向け共に努力していきましょう。

さて、本校では、「夢や希望をもち、個が輝く楽しい学校づくり」の教育目標の下、地域に根ざし、規範意識をたかめながら楽しく学べる学校づくりに取り組んでおります。めざす子ども像は、「一生懸命に学ぶ子」、「思いやりの心や責任感をもつ子」、「明るく元気に活動する子」です。

これらの目標を達成するために、城南っ子応援隊プロジェクトチームを編成し、地域との交流を推進しコミュニティスクールづくりに取り組みます。地域に根ざした教育と生きる力を育成する教育を柱に全職員が一丸となり、子どもたち一人ひとりの成長を確認しながら全力で取り組みますのでよろしくお願いいたします。

楽しい1年生をむかえる会の写真



校長のひとり言シリーズ その1 「折り合いのつけかた」

新しい環境にだんだん慣れてきた頃ですが、子どもたちは、日々の生活の中で思い通りにいかないことにたくさん出会います。

勉強のこと、遊びのこと、友だち関係など、む



しろ、思いどおりにならないことのほうが多いかもしれません。そういうときに、どのように折り合いをつけていくのか、折り合いのつけ方を学ぶことも、生きていく上ではとても大切なスキルだと感じます。このスキルを身につけていくためには、いろいろな体験をすること、そして、そのなかでたくさんの人と出会うことが大切だと考えています。遊びのなかでの譲り合いやあきらめずに努力して、今までできなかったことができるようになること等、一つひとつの体験を通して、子どもたちは、がんばる力や我慢する心、そして、人に感謝する心など大切な「生きる力」を身につけていきます。

思いどおりにならないことを乗り越えながら、子どもたちは、しだいに成長していきます。そう考えると、年相応に思いどおりにならない壁にぶつかることも、子どもたちの成長には欠かせないのだと思います。

新しい学年がスタートして1ヶ月半が経ち、いろいろなことにちょっと慣れてきた頃です。こういう時期は、子どもたちの小さな変化にもぜひ注意していただきたいと思います。張り切っていた気持ちが何かでつまづいて気持ちが沈んでしまったり、慣れてきたために自分勝手なルールや思い込みで行動してみたりすることがあります。また、心ない言葉で相手を傷つけてしまうこともあります。子どもを信じることは大切ですが、もし子どもが間違っていたら正してあげることでも大人の責任です。子どものことを一番近くで見ている大人が、よいところを認めつつ、時機をとらえ、必要なアドバイスをしていくことも子どもの成長には大切だと感じています。

※裏面「オープンスクールの案内」もご覧ください